

新まちづくり計画（H16～18）追加補強事業総括調書（単位：千円）

予算事業名		「市民がつくる公共空間」検討・促進事業	
担当		厚別区市民部地域振興課 河野憲義 895-2400(内線219)	
基本目標		2	健やかに暮らせる共生の街さっぼる
重点戦略課題		1	魅力あふれる地域づくりの推進
施策		1	市民の主体的なまちづくり活動の支援
関連新まち計画事業名			
		予算額	決算額
事業費		2,000	728
財源内訳	国・道支出金		
	市債		
	その他		
	一般財源	2,000	728
事業実施(拡充)の背景・目的・考え方		事業内容(量・場所・規模等)	
<p><背景> 厚別区厚別東3条1丁目に位置する厚別清掃工場は平成17年に解体が完了した。 現状で恒久的な公共施設を整備することは困難だが、当面は跡地を公共で保有し、市民ニーズに沿った暫定的な利用を検討することになり、厚別区では、当該経緯を踏まえて、跡地の暫定利用について区民の意向等を踏まえながら検討を進めている。</p> <p><考え方> 公共空間等を市民の参加により地域づくりに活かすための具体的な事例として、その手法や施策メニューを整理していく。 公共空間等の活用は、身近な自治の題材として分かりやすく、コミュニティ意識や公共への意識をはくむことができるなど、今後市民自治による地域づくりを進めていくうえで有益である。 なお、跡地活用については、市民まちづくり局(企画部)の調整の下、具体的な活用手法については厚別区において検討を進めていく。</p>		<p><17年度> 厚別区まちづくり協議会のメンバーが中心となった「厚別清掃工場跡地暫定利用検討委員会」が発足し、区民意向を調査しながら提言書をまとめた。</p> <p><18年度> 検討委員会がまとめた提言書の趣旨を踏まえながら、活用方法や運営方法について検討を進める。</p>	
評価(成果)		課題	
<p>厚別清掃工場跡地については、パネル展の開催(2回)、区ホームページへの掲載、地元のまちづくり会議での説明など、検討委員会の提言書の趣旨の周知を図るとともに、跡地利用検討ワークショップを開催し、住民と共に考える機会を設けられたことは評価できる。しかし、維持管理や必要最低限の整備に係る予算措置等について関係部局との協議がまとまらず、2回目のワークショップが開催できなかった。</p>		<p>厚別清掃工場跡地について、行政側のスタンスが定まらず、活用方法や運営方法について議論が進められなかったことが大きな課題である。</p>	
19年度以降の方向性・事業の予定			
<p>庁内の調整を継続しながら、行政としての一定の方向性が出た段階で改めて地元や関係団体、区民に説明し、運営方法等について検討を進めていく。</p>			